

2-7 どんな気持ちになりましたか？生活に支障が出たこと、似たような場面で不意に思い出すような経験も、可能な範囲で教えてください。(4月23日748人回答)

○30年以上経っても、歩いていると思い出して怖くなる。

○二人がけの席の奥に座るのを警戒。

○しばらくの間、その道を歩くときに怖さを感じたし、別の道でも後ろから自転車が来ることに恐怖を感じた。

○1日中こわいし気持ち悪かった/物のように扱われて踏みつけられた気持ちになった/電車に乗るのが怖い/男性が近付くと怖い。

○屈辱的な気持ちになりました。肌の露出は避け、髪を切って明るく染めて被害に遭わないようにしています。特に20代の頃は、身近にストーカーやレイプ被害にあっていた子が複数いたので、性犯罪のニュースを見ると自分よりその子たちのことを思い出します。

○もし痴漢だという自分の認識が間違っていたら失礼だと思い、声を上げづらかった。また、映画の上映中は声が出せない上、物語を見たいのに、声を上げたら中断せざるを得ないという状況に泣き寝入りすることになった。

○子供の頃は男が何をしているのか意味がわからなかったが、子供心にただひたすら怖くて、電車を降りても男が追いかけて来ているような気がしてしばらく震えが止まらなかった。大人になってからはただひたすら不快だった。

○不快。

○腹が立つ、泣きたい、いつまで経っても忘れられずふとした時に思い出すとイライラする。

○男が嫌いになった。

○人が多い場所に行くと息苦しくなる。逃げ場がなく、閉じ込められる場所(電車・エレベ

ーター・映画館)に行くとき震えと吐き気が止まらない。

○痴漢の話題が出るたびに思い出す。若くてなにもできなかった悔しさと、卑劣な行為に対する怒りもある。あれは性犯罪だったのだと再認識する。

○夜、飼い犬に餌をやるが怖くてできなくて、飼い主の兄にめちゃくちゃ怒られたけど理由を説明できなくて悔しかった。

○毎日毎日恐怖を思い出して怖くて惨めで死んでしまいたかった。相手を殺してやりたい死刑にして欲しい。

○非常に腹立たしかった。好きでもない、気持ち悪い大人から、性のはげ口にされた、自分は何も悪くないのに汚いものになった気分。

○こちらが逃げられず、また誰がやったかも確認しにくい状況、なおかつ朝の通学途中という忙しくて通報しにくいタイミングで痴漢をされたということに腹が立った。

○つけられていた人やナンパにもし私の家がバレてたら？とか帰ってすぐ電気をつけることで部屋もバレたかもしれない、と思って怖くなることがあります。

梅田ではHEP周辺を通るのはもう避けています。(HEPじゃなくてLUCUAで買い物する、みたいな)

あとカラオケも入ってこようとしたり外から覗いてきたりする男の人が多く、家から近いところでしかオールはしないようになりました。

基本的に暗い道で男の人とすれ違う時は距離を取るようになりました。

○最初は怖くて動けませんでした。何百回も被害に遭ってれば怖いというよりうんざりします。恐怖で声を上げられないのもありますが、大勢が一言も喋らず静かな空間で声を出す勇気が出せませんでした。

○気持ち悪いとおもった。足がガクガク震えた。今となっては中学生に対してそんなことをする人がいるのに驚いた。とくに美人でもない自分がこれだけ痴漢経験があると、他の

人も日常茶飯事にあるのではないかとおもう。押し倒されことはさすがに家族に言えなかった。

○怒り。  
○自分が汚いもののように感じられた。  
電車は早い時間の混んでない車両に変更せざるを得なかった。  
公園ではおじいさんを避けるようになった。

○女性専用車か女性専用車が無い時間はなるべく女性の多い車両を選んで乗るようになった。満員電車に乗って通勤したく無いので海外で就職した。

○怒りです。卑劣な犯罪行為と犯人を取り逃したことと、物理的にコートを破棄したので金銭的な損害も出たので。

○最初は屈辱的な感じ。回数が多いと、自分を責めたり、変に慣れてしまった。

○少し気持ち悪くなります。胸焼けのような気持ち悪さというか、みぞおちの辺りが沈むような気持ち悪さを感じました。された後はやはり怒りを感じますし、似たような場所は避けて通ります。

○動悸がして最悪な気持ちになりました。

○生きてるのが辛くなりました。

○幸運にもそれで生活に支障が出ることはなかったが、小学生のときに自慰行為を見せられたこと、高校受験の朝、電車で触られたこと、そして車両を変えても追いかけてきたことは、思い出す度に卑劣だと感じ怒りがこみ上げる。

○10年以上経った今でもたまに思い出して嫌悪感や怒りで苦しむ時があります。

○恐怖心、戸惑い(どうしていいかわからない)。  
○不快 たまに思い出して辛くなる。

○不愉快だが直接接触などはなく馬鹿馬鹿しいと思って諦めていた。

○男嫌い 恋愛感情を持てなくなった。

○加害者を殺したくなった。

○5歳の時の加害者は身長が高かったのと、聴取に来てくれた警官は背が低かったため、背が高い男性が苦手になった。  
たとえ仕事の場でも背が高い男性が近く来ると緊張する。お付き合い、結婚した男性は低身長の男性のみです。  
子どもに対する性加害に敏感になりました。特に自分の子どもが加害されたらどうしようと不安です。子どもへの性教育に強迫的になっているのではないかと思う時があります。一人で電車に乗る際は、座っていても絶対に眠らないようになりました。満員電車は特に緊張します。

○ムカつく、悔しい、辛い...という怒りの感情から、段々何か怒鳴ってやればよかった、悲しい、無気力...と変化します。フラッシュバックするとこれを繰り返します。

○なぜ私にそんなことをするのか?(学校ではブスといじめられているのに)理不尽さで悔しくて、でも怖くて(声をあげても「ブスが何言ってるんだ」と言われそうで)、じっとしているしかないことにいつも絶望していました。

○不快かつ腹が立ちます。被害について誰かに話すと同じ経験をしている女性も多くます。腹が立ちます。  
精神的な不調時は外出したくなくなります。鬱を患ったこともあり調子が悪いときは1人で外出せず彼氏と一緒に出かけようとしています。  
フラッシュバック的なものもあり怒りで頭がいっぱいになります。  
わいせつ事件は被害者が恥ずかしいと思わないと成立しないのですよね? 恥ずかしさより怒りが勝ります。私の場合は恐怖よりも怒りです。法律を変えてください。

○不快、不愉快、怒りしかわきません。許されるなら犯人をボコボコにしたいし刺青で痴漢と顔や手足に入れてほしい。

○非常に悔しく殺意を感じました。生活に支障が出るほどのトラウマはありませんでしたが、今でも時々思い出すと、痴漢どもをまとめて煮えたぎる油に落としたいとなります。当

時は全く社会問題になっておらず、誰も助け  
てくれないのが当たり前だったので、忘れる  
しかありませんでした。周りの友人も「例外  
なく全員」が何らかの被害に遭っていたの  
で、お互い報告することで痴漢への怒りを発  
散させていました。

○何度かつけられたので怖くなり徒歩で移動  
してましたが自転車に変えました。  
時が経ってもまた居るのではないかと不安に  
なるので後ろを警戒しながら歩く時もありま  
す。

○気持ち悪い 男性嫌悪 男性不信。

○フラッシュバックというほどでもないだろ  
うが、やはり文字にせよ声にせよ、上記以上  
に言葉に出来ない。似た外見のタイプを見る  
と偏見と分かっているにもかかわらず。無意識に  
若い女の子たちに近付けないようにしないと、  
と、思ってしまう。

○予備校の夏季冬季講習は京都の方に変更し  
た。五十過ぎても未だにこうして覚えている  
のだから、お察し。

○とても不快で怖かった。電車の時間帯をず  
らしても、痴漢は出た。

○今でも、具体的に生々しく思い出すことが  
ある。

○不快・恐怖・気持ちが悪い・男全員死ぬと  
思う。

○屈辱感と怒り

○怖かったから瞬時には対応できず、声を上  
げるなどの対応が何もできなかったのが悔し  
かった。

○男性全般嫌いになりそうになる。

○ときどき思い出しては嫌な気持ちになった  
り同じような状況で恐る恐る行動するよう  
になった。  
汚された気持ちになりました。

○たった一度だけの痴漢体験なので生活に支  
障は出ませんでした。ここまで怖いもので  
口にも出せないものだと初めて知りました。

○満員電車で嫌悪感を持つようになりました  
。女性専用車両があつて良かったです。

○1人で歩くのが怖くなった。

○自分が勝手に消費される感覚が気持ち悪か  
った。今でも触られた部分をネガティブに捉  
えてしまう。

○女性が普通に生きていだけで毎日こんな  
ことに怯えないといけないことを思い知って  
絶望した。

○誰も味方じゃないんだなと思った

○とても屈辱的な気持ちになった。その後の  
人生でも男性全体への不信感が拭えず、「男  
はみんな、機会さえあれば痴漢やレイプをし  
たい生き物だ」という偏見を長期間持って  
いた。今は理性的な人もいると理解したが、  
痴漢に対する憎しみは消えていない。

○10代で痴漢、性的被害を受けると40代に  
なった今でもふとしたきっかけでフラッシュ  
バックし、一日中何も出来ない、急に涙が出  
てくる。電車に乗れない、一生心の傷は治ら  
ない。

○気持ち悪かった。

○スカートを止めた。女らしい格好を止め  
た。被害は止まらなかった。恋愛を全否定  
した。

○気持ち悪い。

○すごく怖くて、周囲の目を気にするよう  
になった。

○その日は学校に行けなかった。今でも満員  
電車は怖い。

○自分が性的に見られたこと、性被害にあっ  
たことが恥ずかしく思われ親がすぐ側にいた  
のに何も言えず、なにも無かったふりを続  
けた。その後ミニスカートを履くのが怖くな

り、電車に乗る時は必ずカッターナイフをポケットに入れるようになった。

○気持ち悪く男性への嫌悪感がつものつた。

○電車に乗れなくなり、しばらく母親に送迎してもらった。

○異性を信用しなくなった。彼氏とも別れた。

○結果的に殺されなかったけど、その都度「この人がもしナイフを持っていたら刺されるかもしれない」と思っていた。その人の目的が、殺人なのか痴漢なのかその瞬間では分からない。

○外を歩くのが怖い。怒りが収まらない。男性全体に対する不信感があります。トイレや更衣室でカメラやマイクをチェックするので疲れるし腹立たしいです。自宅にいても安心できず恐怖感が消えない。

○女だから仕方ないと思った。

○非常に恐ろしかった。

○気持ち悪い、屈辱、恐怖。日常でふと思い出して憎悪がわきあがる。どうにかして相手を見つけ出して報復したいなどと考えてしまう(しみつかってもそんなことはできないと思う)。

○狭い通路で男性と2人きりの状態になったら、必ず意識するようになった。

○あのかき逃げずに、すぐに通報すれば良かったと後悔した。何もできなかったことに腹が立った。

○気持ちが悪かった

○死ぬと思った

○まずはショック、次に怖い気持ち、惨めな気持ち、悔しい気持ちがまじってわいてくる、被害に遭った後しばらくは不安感で外出が怖くなる。

○まだ子供なのに怖かったし何も出来なかった自分を責めた。

あとは高校生の頃にも帰宅途中でいきなり抱きつかれた。真っ暗で自転車も倒れ急いで家に帰った。

○相手は爺で、幸せに死んでいったのかと思うと悔しくてたまらない。30年以上経っても忘れられない。悔しい。

○25年以上前の事だが、今だに夜道が怖い。人影とか。

○最悪だった。

○怒りのぶつけ先が分からず、一緒に怒ってくれる友人がいてやっと憤りが収まる感じ。スーツの男を見ると警戒するようになった。

○成人男性が気持ち悪くなった。

○最初は意味がわからなかったが、ものすごい不快感。意味がわかったあとは気持ちが悪く、混んでいる道に行きたくなくなった。

○私はトラウマになるほど酷くはないです。気持ちわるいので今なら警察にすぐにつきだします。昔はスマホなかったから。

○恐ろしい、気持ち悪い、恥ずかしい。他人の性器を見たこともなかったため状況を思い出すのも苦痛で20年近く誰にも相談できなかった。

家族がYouTubeで江頭2:50の女装企画の動画を流していて、動画の終わりにメイクを手伝ってくれた女性に対し江頭氏が自分が履いているスカートをまくり下着をおろし性器を見せつけていた。動画では塗りつぶされていたが、前後の会話の成り立たなさ(興奮していつやろういつやろうと相手の話が耳に入っていないような)に一気にフラッシュバックした。今でも時々思い出しては胃に重い石が詰められたような心地になる。

○死にたくなる気持ち。

○怖くて、腹が立った。何もできない自分に腹が立ったのです。

○腹立たしく悔しい気持ち。

○幸いなことに幸せな結婚はしましたが、ずっと恋愛が苦手でした。

○人に話すときと隙があると言われて、自分の不甲斐なさを悔やんだりもした。日々緊張しどうしの通学だったけど、学校が嫌いではなかったの通学そのものに左程の不安感はない2年間だった。でも東京での電車通学はもう嫌だと思ってその後は満員電車に乗らなくても良いアパートに引っ越したが、バイトの帰り道の夜、一人で歩いてたら、痴漢というか露出狂に追いかけられ恐怖を味わった。折に触れて思い出します。

○何が起こったのか、最初はわからなかった。恥ずかしい気持ちと、腹が立つ気持ち、怖い、気持ち悪い。

○自分がまさか痴漢にあうと思っていなかったの、気がついた時は気持ちが悪かった。

○逃げられてよかったと思った。

○屈辱的かつとても不愉快でした。そのため、毎朝警戒して電車に乗っていました。犯人を野放しにしてしまったことが非常に悔しく、今となっては勇気を出して駅員や警察に助けを求めればよかったと思っています。

○とても腹立たしい気持ち。

○母親に対する不信感、男性に対する恐怖感。

○タクシーに一人で乗るのは、今も少し躊躇います。

○尊厳を踏みにじられ侮辱されたと思った。家にいて覗きがあった時には、家にいても安心できず、ガラス窓越しでも人影が見えると動悸が激しくなった。

○最大の接触が抱きつきのみだったのでそんなにトラウマにはなっていませんが、とにかく油断しない・用心用心です。

○なるべく強そう感を出す為に、満員電車のときは携帯などは触らずにひたすら前をしっかりとみて乗る。できる限り、混む時間帯に電

車に乗らないようにする。いつも決まった車両にしない。

○5歳の時は痴漢なんて知らなかったのだからただ怖くて逃げ回った。

17歳痴漢なのかどうかよく分からずどうしたら良いのか分からなかった。

19歳私のせいで誰かが乗れなかったわけでも、3人しか乗っていないのでエレベーターが混んでいるわけでもないし、ボタン操作も私がしたので何故怒鳴られるのか分からなかった。それ以来1人でエレベーターには乗っていない。

○被害から1年ほどは、夜道で男性とすれ違ったり並んだりすることが恐怖だった。今も少し怖いと感じることがある。男性恐怖症とまではいかないが、知らない男性に対して不快に感じることもある。

○怖かった。

○その時は怖くて逃げることしかできず、後から警察にいけばよかった、こうすればよかったととても悔しくなる。この世にはこんな男がたくさんいるんだと絶望的な気持ちになります。

○嫌悪感、屈辱感。電車、特に満員電車が嫌いになった。

2-5で書いた痴漢の顔がある役者さんに似ていて、申し訳ないが見るたび思い出す。

○電車に乗るのが怖くなりました。私は通勤では電車を使用していなく、あくまでも休日乗車での体験なので、空いてる電車に乗ったり、混んでいたら乗らない等していました。40代になった今でも空いている車両を探したり、乗車中もなんとなく緊張しています。

○恐怖

○自分の胸が汚いと思うようになり、胸の大きさが思春期の間、コンプレックスになった。隣に住むおじさんのことは、避けるようになった。見かけたら走って逃げたり隠れたりした。電車内では男性が必要以上に近いと怖いと思うようになった。現在も出来るだけ女性専用車に乗るようにしている。

○情けない、つらい

○夜になって怖いことだったんじゃないかと思って、泣きながら両親に話をした。知らない男性に急に話しかけられると、今でも警戒する。

○古本屋に行く時、まわりに男性がいないか確認するようになった。  
電車でそのおじさんに話しかけられたことを定期的に思い出すようになった。

○怖くも感じたが、腹立たしい気持ちになった。笑いかけてくる加害者もいれば、苛立っている様子の加害者もあり、それぞれの事情をそれぞれが消費するべきだと思った。電車に乗るときは常に後ろを気にしており、普通に過ごしていても思い出すことがある。

○恐ろしい。疑心暗鬼に悩ましている。ストーカーされた人と似ている男性を見るとドキッとする。

○気分がどん底に落ちて、ずっとその事を考えてしまう。精神的にやられる。今でもふとした時に思い出し、そのシーンが映像で思い出せる。

○最低な気持ちになった。精液かけられた服は気持ち悪すぎて捨てた。

○何をされたか理解してからは、夜は1人で出歩かず、昼間も人気のないところは怖くて通れないです。外でも男の人と2人きりの空間になると、襲われるんじゃないかと怯えてしまう。常に警戒してしまい、心が疲れる。一生忘れられず、ついてまわる問題。

○高校は教室、水着の更衣室、体操服の更衣室、全て施錠できない。そもそも校舎が古過ぎで、ドアに鍵がついていない。現代において、学校側の防犯意識の低さにガッカリする。他の箇所でも盗撮カメラが仕掛けられていないか、不安な気持ちになった。盗撮犯人がいるような学校生活がとても不安。小学校でも水着や女子体操服の性器部分を切り刻まれる事件があった、被害者は4人。学校は消極的で犯人は分からないまま卒業した。学校内での性犯罪も注目して詳しく調べて欲しい。とにかく学校は隠蔽したがるから。また

児童生徒を守るため、校内防犯カメラの設置を推進してほしい。

○すごく嫌だったし、怖かった。恥ずかしくて誰にも言えなかった。不便だが、なるべく混んでいる電車に乗らないようにした。

○男性は相手を性的に見たら平気で仕掛けて来るし、周りを見て見ぬ振りで正義とか無いな...男らしいって何かな?と今もずっと思っています。

○全ての人がそうでないとわかっていても、警戒心が生まれて棘のある対応をしてしまったり。触られたところの感触が残っていて不意に気持ち悪くなったりする。

○しばらく自宅近くやその場所に一人で行くのが怖くなった。

○男性への恐怖心と嫌悪感がずっと残りふとした時に思い出して息苦しくなる。

○その時は、その男の人の怖さが離れず（「これ以上抵抗したら殺すぞ」みたいなオーラが見えた）、どうやって学校まで行けたのか覚えていないくらいだった。数日後、その男の人から、（個人情報教えていないのに、）家に電話がきた。家に私しか居なかった時にきた電話だったので、本当に怖かった。家族や親戚、学校関係の人以外の男の人が、暫く恐くなった。

○痴漢もレイプも被害経験があるが、2次被害もひどく対人恐怖で日常生活に支障が出ている。後遺障害も深刻。

○すごく不愉快で、その日1日は気持ちが落ち込んで何も手につかなくなる。被害にあった場所や、似たシチュエーションや、夕方以降、ひと気のない場所に居る時、常に警戒しながら過ごしている。

○非常に不愉快で腹が立ち、殺意が芽生えましたが報復が怖く主張などはできませんでした。

○テレビで痴漢やセクハラを笑いのネタとして話していたり、痴漢やレイプもののアダルト

ト作品を目にすると、過去のトラウマがフラッシュバックして苦しい。

○距離のとり方が自分より近い人を警戒するようになった。

○辛かった、自分を責めた、汚された気がした、全ての男性が怖くなった、自分に価値がないように思えた、被害を訴えなかったことでその犯人から別の女性が被害に遭ったらどうしようと自分を責めた。

○人間不信になりました。

○自己嫌悪に陥りました。今まで誰にも話せていません。すっかり忘れていました。

○自分のからだが粘土のような感覚になりました。離人感。

○電車に乗ると狙われるため、乗換駅始発の電車を待ち、座るために家を早く出ている。犬の散歩中に路上で触られた時は、しばらく近所をひとりで歩くのが怖かった。

○思い出して怒りが湧く。

○駅や電車に近づくのが怖かった。

○怒り。

○夜は後ろに男性が歩いているだけで警戒してしまうし一生忘れることはないだろうと思う。

○怖い、悲しい、悔しい。

○後の項目に記載したが、その後に母親に言われた事が衝撃的すぎてフラッシュバックする時がある。

○声を出して注意しようと思ったが、殴られたらどうしようと怖くなり動けなかった。

○2年ほど経ちますがいまだに少しでも暗くなると1人で帰れません。(冬場なら17時頃から暗くなるので、帰っている途中で体が固まって動けなくなります)。

○時々思い出して自分が汚れてしまった気になる。

○当時は何も知らず、不快にしか思わなかったが、やはり記憶には残っており【これも痴漢被害なんだ】とわかった時には遅かった。

○あまりにも日常過ぎて麻痺していたと思います。恥ずかしいのでクラスメイトや親にも相談できませんでした。

○怖くて誰にも言えなかった。

○怖くてしばらく図書館に行かなくなった、今でも図書館や書店の端(店員があまり来なそうなところ)が怖い。

○腹立たしくて悔しい。何度も思い出してはあの時ぶん殴ってやれば良かったと思う。

○今すぐ家に帰って身体を洗いたかった。

○16歳で身近な人達から繰り返し盗撮をされた時は本当に怖くて気持ち悪くて、どうやったら早くやめてくれるかばかり考えて、敢えて身だしなみをがさつにして、暗く下を向いてばかりいました。そのうち本当に精神的に落ち込んで参ってしまい、学業や健康面、通常のコミュニケーションにも問題が出て、その高校には通えなくなりました。結局転校したり、高卒認定試験を利用して大学進学をし、大変苦勞しました。

○自分が女であることが嫌になった。

○PTSDになった。20代半ばまで男の人とまともに話せなかった等。

○やられた瞬間は思考が追いつかないが、時間が経つと自分の人権を踏み躪られたことがわかり、とても悔しく腹が立って忘れることができない。思い出すたびに加害者を頭の中で殴ったり捕まえたりする妄想にふけることを何度も繰り返す。男性を信用できなくなった。パート勤務時に客からセクハラやパワハラを頻繁に受けたため、スーパーなどで働くことができない。

○盗撮されたことに加えて駅員に話を聞いてもらえなかったことに大きな失望を感じた。

電車に乗るたびに思い出す。

○もう何十年もたつのにまだ触られた感触を覚えている。気持ちが悪かった。常習犯から「好きだ」と告白されたこともあった。怖くて逃げた。

○気持ち悪い、怖い、夜道が怖くなった。

○似た感じの人が怖い。周囲をよく気にするようになった。誰とも目を合わさないようにして早歩きするようになった。

○不快・恐怖・怒り・嫌悪・恥ずかしさ。

○まだ異性に触られた事など無かったので本当に怖かったし男とはこういうものなんだと思った。

30年以上たっても鮮明に覚えているどうして反撃出来なかったのかが悔やまれる。

○大変恐怖で30年経っても覚えています。高校生ぐらいまで、大人の男性に軽く恐怖心や嫌悪感がありました。

○吐き気がして、最寄りのトイレで嘔吐したり、その場所には二度と行けなくなったりした。とくに、高齢になってからの被害は誰にも言えず辛い。

○物として消費されたようで屈辱感がありました。また怖くて電車に乗りたくなくなりました。

○公共の場で痴漢をしてくる人に対抗したら殺されると思い、その場では何もできませんでした。痴漢被害にあった駅を通るとフラッシュバックし呼吸が出来なくなり、吐いてしまった事があります。テレビや映画のセクハラシーンで度々当時のことを思い出してしまい、犯人と似た様な特徴の人を見かけると身構えてしまいます。

○未だに近くで人が急に走り出したりするとトラウマで心臓がバクバクする。

○怖かった 油断していた自分のせいかと自己を責めたりもした。

○ふいに思い出す、男性がそもそも吐き気を催すくらい嫌いになる、つき出せば良かったとイライラする。

○自尊感情が減っていったような気がする。または間違った承認欲求を求める友達に驚いた(美人だから、かわいいから触られた、など。)

○大学入学まで痴漢に遭ったことがなく、また、性体験もない時だったので、かなり動揺した。

○夜1人で歩く時、荷物で手が塞がっている時は怖い、電車を利用する際は警戒するようになった。

○気持ち悪い。警察は役に立たない。誰も助けない。

○その後一人で図書館に行くのが怖くなった。必ずきょうだいと行くようになった。

○なんでこんな事されてるんだろう？え？今の何？勘違いかな？怖い、誰か気がついて。電車に乗る時はスカート履かない。夜道を歩く時は、傘や鞆など振り回して帰るがルールになった。

○何が起きたかわからなくて混乱した。後からあれは痴漢だったと気づいた

○恐怖。怒り。

○日常生活でふと思い出し不快な気持ちになる。

○誘拐未遂は、その後のいきづらさにとても大きく影響した。25歳ぐらいからそのことに気づき始め、そのことが今に全く影響しなくなるまで15年かかった。ただ時間が過ぎたのではなく、相当な時間とお金を費やしてセラピーなどを受けた。

職場でも、都心から離れるほどに性被害への認識や理解、リテラシーがなくなっておらず、とても嫌な思いをした。そのことも職場を変えるきっかけとなった。

○被害を受けた当時は変な人もいるんだなムカつく！ぐらいに思ってた終わりましたが、年

年齢を重ねるにつれて彼らにされた事がいかに醜悪か、理解してしまい辛くなった。

○好きな服装ができなくなった※性被害にあったときの事を思い出して気持ち悪くなって着れなくなった。好きなライブにいけなくなった。好きで制服を着ているわけではないのにより一層制服が嫌いになった。太ももを触られたときの感覚が不意に思い出してしまうたびに太ももを掻きむしるようになった。とにかく好きになった相手でも体を触られることに非常に嫌悪感がある。

○怖かった。同じバスに乗ること、同じ道を通ることをしばらく避けた。同じような状況に陥らないよう今も物陰になる所は避けている。今でもフラッシュバックするので、どんなに信頼している人でも男性に斜め後ろに立たれるのは恐怖を覚え拒絶感で涙が出そうになる。手入れして綺麗に伸ばしていた髪は短く切った。なぜ被害者側がこうまで対策をしなくてはならないのか怒りを覚える。

○30年以上たった今でもたまに思い出し不愉快な気分になります.....。ワタシ達の時代は就職先ではどこも当たり前のようにお尻を触られるのが挨拶がわりみたいな...今思えば我慢なんてしなくて良かったのに.....。

○1人で歩く時や、職場の建物に入る時、自宅に入る時に背後や周囲を警戒するようになり、漠然とした不安がつきまとう。小学生の娘がいるが、1人で外を歩かせたりいずれ電車で通学させることに非常に不安がある。

○何が起きたかわからなかった。家に帰って親に話してようやく性被害にあったと自覚した。10年以上経ったが今でも後ろを歩く男の人がいると嫌な気分になる。

○特に、夜は身構えるようになりましてし、返答や対応をいつも考えながら歩いていました。今ではさっぱり被害にあいませんが、ふとした時に鮮明に思い出します。

○男性が苦手になった、スマホのレンズが自分に向いたら疑ってしまう、家以外のトイレが怖くなって車椅子専用トイレや上に隙間がないトイレを利用するようになった、トイレする時毎回思い出して怖くなり冷や汗が出る。

○不快、怖い、驚き、怒り。

○犬の散歩に1人で行かないようにした。

○外出が怖くなって控えるようになった、他人の気配がすると逃げ出すようになった。

○電車に乗る時は不審な人がいないか今でもチェックしてから乗るようになった。暗い道は歩かない。夜道は電話してるふりをしながら歩く。

○しばらく同じ場所に行けなかったし、今でもひとりの時は防犯ベルにぎってる。

○兎に角不快。恐怖心とかは残らなかったが不快。

○意味が分からない。恐怖、怒り。

○とにかく男は嫌いだと思うようになった。特に年上の男性(70代以上)に嫌悪感。もちろんこんな言葉は口にしないが、滅びろと思う。

○気持ちが悪い。よごされたように感じた。

○SNSで痴漢やセクハラについて発信した人が「お前みたいな女に誰が手出すかよww」と言われてセカンドレイプを受けているのを見て公然の場で発信する勇気は出なかった。心の中ではぶっ殺してやりたいと思っていた。

○当時着ていた服を見ると被害を思い出すので、1回しか着てなかったが捨てざるを得なかった。膝上スカートが履けなくなった。スカート内盗撮被害で足をクロスする癖ができた。男性が怖くなった。男性に後ろに立たれるのが怖い。

○とても嫌だった！たまに思い出して警察に通報すればよかったと苛立ちを覚える。

○何度も思い出してしまい嫌な気持ちになります。50歳になった今でも一人で夜道を歩くことができません。

○あまりにフランクでニコニコした感じの人だったので怒るとか嫌がるそぶりもできなかった。道案内はよく声をかけられるのですが、女性だけにしようと思っています。

○怒り。

○当時はあまりに日常的に起こるので、痴漢が性暴力だという認識もなく、「また下着売ってくれて言われたんだけどww」のように茶化してしまっていた。友人たちも皆被害に遭っていたと思うが、どんなに仲が良くても、被害を相談し合えはしなかった。恥ずかしいという気持ちが強くて、大人にも相談できなかった。

○当時はとにかく怖くて気持ち悪い。しばらく経ってからものすごく腹が立つ。今は反応できなかった自分が不甲斐なく悔しい。

○夜道など一人で歩けなくなったし、何年も経った今でも警戒心が抜けない。

○ショックでしばらく後ろから誰かに追い抜かれる際に警戒した。

○小学生の時は意味がわからなかった。17歳の時はよくあることかと思う気持ちもあったが夜のバイトは親に送り迎えしてもらうようになった。髪を触られた時は「男性は気持ち悪い」と偏見が生まれた。

○恥ずかしい気持ちと、驚き。性的に見られる事にショックを受けた。

○その瞬間は恐怖、しばらくすると怒りに変わり、加害者に対して何も出来なかった自分に対しても腹立たしく思ってしまった。

○男性全般が怖くて嫌いな気持ち。

○満員電車が怖い。

○最悪。

○怒りで叫び出しそうになったが、抵抗しても誰も助けてくれないと思いつてもできなかった。とても悔しかった。死にたくなかった。

○男の人との距離感が分からなくなった。上司などでも親しくなってくると、あからさまに距離を置いてしまうようになった。車で後をつけられた時は、しばらく同じ色同じ車種の車を見るたびに緊張した。夜道で腕を捕まれた後は怖いし悔しいし、自分の弱さが心底嫌になった。

○同じ場所を通りたくなかった。一人で歩きたくなかった。

○他の人が同じ目に遭っていると思うと、憤りを感じた。

(女子校に通っていて、おそらく被害に遭っている子は少なくなかったと思うので)

○未だに類似した背格好の男性は特に苦手。男性全体に対しても警戒心があります。気の合う知人でも、この日本で生きていると女性蔑視がデフォルトなのか失望する発言をされる男性が多く、その都度怖い気持ちを抱き距離を置くようになりました。この状態での婚姻は無理だと感じています。

○露出痴漢のほうはとて怖くて走って家まで逃げて、軽いトラウマになった。それ以来引越すまでは終電付近の深夜勤務はほぼできなかったのと、やむを得ず遅くなる時は必ず家の前までタクシーで移動した。唾液のほうは何が起こったのかわからなかったのもその場では何もできなかったが、今思い出しても不快な気持ちになる。

○きみが悪かった。

○帰り道が恐怖で常に後ろを気にしながら怯えて帰宅するようになった。

○未だに思いだすと怖いし、腹立たしいし相手が苦しんで死んでいるか生きてるのが地獄な状況であればいいと思っている。

○悔しかった。

○恐怖と不快感、何もできなかった自分を責める、悔しさと男性全般への嫌悪感。男性が

後ろを歩いているだけで怖くて追い抜かれるまで立ち止まったり逃げたりしてしまう。

○暗い道を安心して歩けない、何もしてなくても不意に思い出してしまう。

○随分長い間、電車に乗るときに隣に男性が座ってこないか警戒した。  
とにかく不快今でも不快。

○小学校からの帰宅途中に被害に遭った後は、その後しばらく怖くて校門から出ようと思っても足が固まって動かなくなりました。また、男性全てが怖くなり、少しでも目が合うと冷や汗が止まらなくなり、泣きながら近くのお店などに逃げ込んで動けなくなりました。夜も眠れなくなり、その後10年以上経っても夢に出てきました。

○惨めで苦しく辛かった。深く傷付いた。自分の人格が踏み躪られたように感じた。自分は一人の人格のある人間ではなく、ただの性的なはけ口として見られているのだと感じた。その後男性恐怖症になった。

○いまだに満員電車は乗れないので、遊びのときでもピークよりかなり早めに解散するか、乗車ピークを超えた遅い時間に帰るようにしています。進学先も勤め先も電車通勤・通学が不要な学校や会社、そして居住する家を選びました。

○それ以来、男の人が怖くなった。大人になって大丈夫になったが今でも思い出すと気持ち悪い。  
訳がわからなくて状況把握するのに固まってしまった。状況が分かった瞬間怖くなり立ち去るので精一杯だった。

○未だに恐ろしい。嫌な気分になる。混んだら電車に乗ると思出す。

○直近の3年ほど前に痴漢された後に、無性にタトゥーを入れたくなった時期があった。結局タトゥーは入れなかったが一種の自傷行為として入れたくなったのではないかと考えている。

○最初は気のせいかと思ったが、だんだんこわくなり、人のいるところから離れられなかった。

○自分がモノとして扱われているように感じた。被害に遭えば遭うほど恐怖で身体が固まり声も出せない状態になり、それが相手にも伝わってより状況が悪くなっていった。表面上は普通を装っているが、未だに見知らぬ男性といるときには無意識に警戒してしまい緊張した状況が続き疲れる。

○びっくりしたし気持ち悪い怖いと思った。男性のことが苦手になり、知らない人には近寄らない、変に距離が近い男性からは距離をとる、女性専用車両に乗るようになった。恋愛もしたくない。

○怖かったしとにかく気持ち悪かった。自分が汚れ、自分の何が悪かったか考え自責感がいつまでもあった。暗い夜道はずっとこわかった。痴漢の多い電車内では、何かへんだなとか嫌だとか思った所からはすぐに移動するようにしている。

○子どもの頃から人がとにかく嫌いだった。暑い日でも露出が嫌い。30代になった今、真夏であっても、胸元をカバーできる上着は必ず持ち歩く。

○何が起きたのかわからない、犯人は逃げていったのでどうしたらいいかわからなかった。

○怒り、気持ち悪い。

○怖い、気持ち悪い、怒り。ほぼ後から来て今も忘れてません。

○思い出しては吐きそうになる。

○露天風呂は入れなくなった。

○恐怖、屈辱感、尊厳を奪われた憤りと悲しみ。

○不快。

○恐怖。気持ち悪い。可能な限り女性専用車両に乗るようにしている。

○1日何も考えられなかった。

○怖くて何もできなかつたし、何か対応して、逆ギレされたら嫌だと思った。

○不意に思い出して死を考えてしまう。

○直後は何が起こったのか理解できず、家に戻り、時間を置いてようやく恐ろしさが湧いてきた。その後しばらくは後ろを何度と振り向いて安全を確認しながらじゃないと歩けなかつた。当時は「自分が悪かったのか？」と悩んだが、今では100%加害者が悪いと理解している。

○みじめ、怖い、冤罪だったらどうしようと思うと言い出せない。

○気持ち悪くて怖かつた。男性が少し怖くなつた。

○性的な関係に無いと思い込んでいても向こうは全然そんなことが無いんだと気づき落ち込んだ。冗談言い合ったり色んな相談もしたのに、ただの女体だと思われてたことに愕然とした。もう男性に親しい素振りは見せないようにしようと思った。

○思い出したくないのでなるべく思い出さないようにしている。

○30年経った今でも手を入れてきた痴漢の顔は覚えています。1人で夜道を歩くのは怖いです。

○路地にある家を避けて引っ越しました。いまでも暗く男性が歩いている路地は走ったりわざわざ当回りで大通りから帰ります。

○気持ち悪い、恥ずかしい、ムカつく。20年以上経っていてもたまに電車に乗ると思い出しては警察へ相談するなどすればよかつたと過去の自分を悔やんだりします。

○今でも家族と一緒にじゃないときは絶対に女性専用車両に乗る。

○高校生のとき電車で痴漢にあつて「この人痴漢です」と必死に声を上げると、満員電車の人々は全員こちらをぐるりと振り返つてか

ら何事もなかつたように降車しました。あのときのぞつとした感触、大人は誰一人味方じゃないんだと突きつけられた現実が、正直痴漢にあつたこと以上に辛かつたです。

その後なんとか警察に行きましたが、男性警察官複数人の前でカカシのような人形に自分がされた行為を再現させられました。こんな辱めを受けるくらいならもう二度と突き出したくないと思いました。

それでも野放しにするのは、と社会人になってからも1度、電車で痴漢にあい警察に行きました。しかし警察曰く証拠不十分で「常習犯だからクロだと思ふよ。またよろしくね」と言われました。

またよろしくね？また痴漢に遭えと？耳を疑いました。

警察は信用できないという思いが強化されてしまい、それ以降何度も痴漢には遭いましたが突き出していません。

○それ以降男性は嫌いになった。女性専用車両を使うと全て解決され、余計に男性が嫌いになった。

○電車に乗るのが怖くなつたし、後ろに男性が乗っていると心臓がバクバクするようになった。

○気持ち悪い、腹が立つ。

○その時は性被害だと気づけなかつた。

○幼かつたので性被害にあつたという感覚がなかつたけど、気持ちが悪く不安でした。

○電車に乗れなくなつた。

○（死ぬ）と思ひましたし今も思ひます。いまだに思い出しては心から地獄に落ちて欲しいです。

○電車や本屋など、被害を受けた場所へ向かうのが怖くなつた。抵抗すると殴られたり暴行を受けることになるのではないかと思ひ、抵抗できなかつた。

○今でも狭い路上で歩いている時車が通ると後ろを見たりして警戒している仕草をしています。高校で部活買えやの夜帰る時は、必ず親に降りる時間連絡して駅まで迎えに来てもらっていました。

○みじめな気持ちになりました。マスターベーションに使うティッシュにされて使い捨てられた気持ちです。しかもどこまで身元や行動範囲を知られてるかわからずついてこられてないか大分心配しました。

○不快な気持ち、一度でもそういった人がいた場所を避けるようになった、そういったことがあった会社は精神的に苦しく退職した。

○ものすごく不快。プールの件は小学生の時だが、今でもトラウマで、波の出るプールはいれない。電車はいまでも満員電車に乗るとたまにある。電車から降りて車両かえるとかしかできない。怖くて男性と話すのが嫌になった。

○卑怯な奴だ、と思いました。

○子供の頃はビックリして誰にも言えなかった。大きくなってからは子供の頃の事も含めてネタにした。上司はさらに上の上司に言って異動してもらった。

○スカートが履けなくなったそのクラブに行く事が出来なくなった。その他のクラブにも信頼出来る友人が一緒でなければ行けなくなった。

○小さい頃から 30 代ぐらいまで男性がうっすら怖くて、仲良くない男性と相対する時は無意識に 1m 程距離を取っていた。

○当時は驚き以外の感情はありませんでした。

○びっくりして、恐怖を感じた。後から怒りに変わった。

○路上の方は高校への最寄駅だったの近くだったので、もう一つ遠い駅から通うことにしました。

○眠れなくなり、夜泣いていた。

○とにかく腹が立つ。被害にあったときは突然のことで反応できないことが多いが、後から怒りがわいてくる。また、制服で仕事をしていると、こちらが強く出られないと思っているのか、堂々と上記のようなことをしてくる。最近だと、無料のキャバクラとでも思っ

ているのか、特に用事もないのに話しかけてきたり、連絡先やプレゼントと称して様々なものを渡してくる人がいる。ひどいものだと、つきまといや、SNS のアカウントを特定し一方的に DM などを送りつけてくるなどがある。上長に報告するものもあるが、業界全体がゴリゴリの男性社会なので、こちらが訴えても、なかなか危機感が伝わりにくい。

○ふと思い出して気持ち悪くなる。

○夜道が怖くなった。数年の間はやたらと後ろを振り返りながら歩くようになった。今も男性とすれ違う時は引き返してこないか警戒している。

○気持ちが悪かった。どうしたらいいかわからなかった。満員電車で男の人が真後ろにいるのが怖くなった。電車の中で背後に男の人がいてカバン以外がお尻に当たると押しつけられてる気がするようになった

○男性に嫌悪感を抱くようになった。電車で男性が近くに来ると車両を変えたり、距離を取るようになったし、困っていそうでも男性なら声をかけることをしなくなった。

○当時は周囲に半分冗談として愚痴っていたが、内心また同じことをされるのではないかと、満員電車で密着している周囲の男性はそういう目で自分を見ているのではないかという思いから電車に乗るのが怖かった時期もある。また、通勤鞆を買い換えるときは口が全部閉まるものを買うようになった。これは今でも続いている。

○ただ気持ち悪く、混乱した。何かやられたことはわかったが言語化が難しかった。痴漢や性の知識も乏しく、性被害だと確信できたのは数週間後。以後、一人の時は女性専用車両か、満員電車内では無機物や女性の前にしか立たなくなった。

○駅なら予備校の通り道だったので行き帰りが怖くなった。逃げ場がない途中の地下通路も周囲に声かけてきた人がいないかかなり気を張って歩いた。

○モノとして扱われたような気持ちになりとても悲しい。

知人に打ち明けた際セカンドレイプをされたこともあり、自分を性的な目で見てくる人がとても怖くなった。人間不信と人を疑ってしまう自分への嫌悪感で鬱病になった。

○とにかく怖かった。また、ナンパを無視して「ブスのくせに」と言われたときの矛盾、相手のみっともなさなどを最近によく思い出します。

○その当時は（高校生の時は特に）、不快だけ受け流すしかないと思っていました。大袈裟に話すと同性からの攻撃もある時代でした。

○同じ場所を使用したくない、通りたく無い。

○電車では被害を受けた同じ時間の同じ車両には乗れない。まだ忘れられない。

○電車に乗るのが憂鬱になったり、夜道が不安で何度も背後を確認しながら歩くようになった。

○身近な親戚や同僚上司、客であっても立場の少しでも上にある男性にはもう近づきたくありません。初対面から信頼できるまでにかかなりの時間を要します。

○本当に痴漢なのか確信が持てず、不快感と戸惑いで葛藤した。後から落ち着いて考えると前述のように痴漢だったと確信できた。

○それまで日常生活で感じたことのないほどの怒りと恐怖を覚えた。

○当時は意味が分からなかったが何かしら思うことがあったのだと思う。だから覚えていたし成長するにつれ何をされたか理解しこの歳になっても思い出しては涙が出ます。ただただ不快。そして憤りを感じる。同じ思いをする被害者が出来ない世界にしなければならない。

○女性だから、このような目に合うのだと思い、恥と苦しさで人に言えませんでした。恋人ができてセックスするようになってから

も、触れられることが恐ろしくなる時がありました。

○ただ、ただ、理不尽で不愉快でしかなかったが、「普通にある事」として自分の中でやり過ごしてきた、それしか選択肢が無かった。

○ただ捕まえるだけではなく物理的に痛めつけたかった。性被害の話題を目にする度に過去の被害を思い出す。

○触られることに対しては、「服の上から手が当たった」程度の被害で済んだおかげで、腹は立っても恐怖はあまり感じていませんでした。中学時代に同級生から性的な目で見られていると知ってから大きく目立つ胸がコンプレックスだったこともあり、道端での声掛けにはひどく嫌な思いをしました。何年も経ちますが高校生や若い男性グループに対しての恐怖心があります。

○被害直後よりも数年後に頻繁に思い出すようになった。ノースリーブなどの露出のある服を着ることに不安を感じるようになった。男性に隣に座られることにストレスを感じるようになった。安心感がなくなり警戒心が強くなった。

○数日眠れなかった。

○被害については頻繁に思い出すが、痴漢以外にも日常に性犯罪は溢れているので特別視することはあまりない。またか、としか。就職してからも頻繁にある不倫の誘いやセクハラ、大学時代は援助交際の誘いもあった。男はそんなものという認識。幼少時からちゃんとした性教育をした方が良い。男性の女性に対する価値観は狂っている。

○一生忘れることはできません。性被害被害者を責めたりする「普通の」男性がごまんといる。日本は地獄だと思う。

○ふいに怒りがわいてきて爆発しそうになる。

○悔しい、びっくりした、情けない。

○頭のおかしい犯罪者に半殺しにされるか殺されるという恐怖。常に緊張状態になってし

まうので疲れ易いし、身体が痛むようになる。忘れようとするあまり、他の関係ない事も忘れやすく、少なからず記憶に影響していると感じる。

○嫌な気持ちとこの嫌な気持ちはなんなのかという疑問が浮かびました。気持ち悪さが残りました。

○嫌な事があっても我慢する癖がついた。

○屈辱と怒り。痴漢、性差別などの言葉を見ると、腸が煮えくり返るような怒りを感じる。

○ただただ不快。殺意を覚える。同時に、自分がすごく情けなく感じた。

○怖くて乗車時間を変えた。

○今でもはっきり記憶していて気持ち悪い。

○不意に思い出す、もっと自分にできることはなかったのか、もっとこうすればよかったと後悔する。

○滅茶苦茶腹が立った。

○自尊感情が持てず、対等な恋愛関係が築けなくなったと思う。自分を本当に大切に思ってくれる人はいない、みたいな。

○とても怖いし不快でした。後ろに人がいると怖くなって先に譲るように今でもしています。男性が近づいてくると今でも怖いです。

○触られた時の不快感は 30 年以上経った今でもはっきり覚えている。性暴力のニュースを目にするたび嫌でも思い出す。

○自転車通学を中断して、しばらくバスを使っていました。街灯が復旧してから自転車通学を再開しましたが、後ろを歩く人の気配に敏感になって頻繁に振り返っていました。同じ場所を通るときは緊張するし、何かあったら反撃しようと片手に傘を握りしめて歩いています。

○とにかく怖い。被害に遭った自分が恥ずかしい気持ち。

○親にも友達にも言えなかった。特に幼稚園や小学校の時の、自分が遭った出来事を理解出来なかった。大学生の時は、咄嗟のことで何も出来ず、ただただ悔しかった。

○一度言葉をかけながら車で追いかけられたので住んでいるところがわかるんじゃないかと思って怖かった。また追いかけられたらどうしようと思って怖かった。

○痴漢の被害にあったその瞬間は、大きな声を出したり、走って逃げたりしたら、追いかけてきて、もっと酷いことをされるのでは無いかと想像してしまっ、目を逸らして早足でその場を立ち去ることしかできなかった。警察に通報したのは、初めて痴漢にあった時だけで、警官から聞き取りを受けたけれどもその後何もなかった。

なぜか痴漢被害にあった事を両親に話しても、叱られてしまった[「ボーッとしてるからだ!」など、言われた。]ので、大人に言っても無駄なんだと思った。その後何回か痴漢被害に遭っているが、両親や先生に相談しようとは思わなかった。友人同士でこういうことがあったから気をつけようと話して共有するのみだった。

痴漢被害にあった後しばらくは、恋人が後ろから私を抱き締めるや体を触るなどのスキンシップが、どうしても無理になってしまった。

○30 年以上も前のことなのに未だに時々思い出して死にたくなる。

○漫画やアニメで見ていたフィクションの性犯罪が現実になり恐ろしく、そして屈辱的だった。漫画やアニメで性犯罪を軽く扱われているのを見ると思い出してしまう。背後から足音や自転車の音がすると振り返らずにはいられない。外に出るのが怖くなってしまった。

○不快、恐怖。

○小 5 の最初の被害のときは思春期に向かう多感な時期だったので、自分の体が女性であることへの戸惑いと気持ち悪さが加速してしまい、自分が悪いような気持ちになり辛かったです。今でも子供が被害に遭ったニュースなどを見ると涙が出ます。私は小柄で弱そう

に見えるのか、30代の今に至るまで大小の被害に遭い続けているので、細かい被害でも蓄積してしまい、基本的に男性が怖い視線とかも気持ち悪いと思うようになってしまい、外出が苦になってしまいました。本当にやめてほしいし性犯罪の刑罰を重くしてほしいです。

○犯人の顔を勇気を出して見たら、勝ち誇ったような笑顔を向けてきて本当に悔しかったです。何十年たってもその顔に似ている人を見ると申し訳ないと思いつつ嫌悪感が湧きます。

○満員電車で意図せずあたる鞆なども痴漢かと思ってビクビクしてしまうようになった。

○男性を信用できなくなった。中年以上の男性は特に、みんな性差別的な考えを持っており、女性を性的対象・愛玩動物としか考えていないのだと思うようになった。道端で会おう危なそうな人を探知する能力が上がった。また、道端で困っている人に声をかけることを躊躇するようになった。

○電車内という狭い空間で加害される危険性があることを意識して生活することを余儀なくされた。そのため、電車内では常に気を張り詰めており、何かトラブルがあった時にすぐ行動できるようにどういう対応をするか脳内シミュレーションするようになった。男性の近くに座ったり、立ったりすることに恐怖心を持つようになった。善良な人だと思いつつも、被害に遭う不安を拭いきれず、特に混雑した電車や逆に人気のない電車内で2人だけの様な時に冷や汗をかいてしまうことがある。

○電車のなかで、痴漢をうけた時の場所に立つと、その時の状況を思い出してしまう。

○肉体的には大きな被害がなかったからか、よく聞く大きな心の傷などにはなっていません。ただ、戸締りには慎重になりました。

○寄せてあげるブラ、ミニスカートと、その時着ていたものが悪かったんだと思っています。その後東京から離れてからは同じようなことはないので生活に支障はないと思う。性暴力は許せない。

○最初数回を超えると怖いなどの気持ちはなくなるが、たいていどうにもできずに逃してしまうので後でじわじわと怒りが湧いてくる。若い子が被害にあった話などをしていると思い出す。助けたいと思う。

○直接体を触られた出来事は、時々思い出してしまい、気分が悪くなります。頭では加害者ばかりではないとわかっているけど、男性を心から信じられなくなり、誰とも交際する気になれません。また、同じ女性でもセクハラをする人がいるため、暗澹たる気持ちです。

○気持ち悪かった。嫌と言いたかったが恐怖で声が出なかった。アパート内の侵入では目覚める迄分からず気付いて大声をあげたら逃げて行った。今78歳だがいつまでも記憶が消えない。

○時間が経ってから気持ちが悪くなった。

○男性への不信感や恐怖。男性が近くにいると警戒せざるを得ない気分になります。

○そこら辺歩いている男性がいつそいつた事をしてくるかわからないから近づいてくるだけで不快になる。セクハラ発言とかしているのを聞くだけで、こいつも犯罪者と同じメンタリティなんだと思うようになった。

○・無警戒で歩けなくなった。  
・話しかけてくる男は警戒する。  
・マッサージで施術者が男性は絶対にNGになった。

・以前に増して、外出先のトイレで不審な穴や物がないか確認する様になった。渋谷109の地下トイレは壁に10センチ以上の大きな穴があいていて上から丸めた紙が詰めてあり、以前盗撮されていた時期があるのではと感じた。

○大人は助けてくれない。いくら大勢いても木材や人形のような物だと、諦めと不信感と無力感いっぱいになった。

○何度も思い出します。

○自転車に乗ってても触られることがあるのか、と驚いた。追いかけてられて襲われたらどうしようか、と非常に怖かった。

○痴漢にあったら絶対叫んだり対抗してやりたいと思っていたが、その時は何もできずとても悔しかった。

○教職関係者には近づかなくなった。1人で階段を登るのが怖くて、知ってる人が登るまで下で待ってた。朝や夕方を過ぎたら中学生だったが、タクシーや親の同伴なしには歩かないようになった。

○長い間、異性との接触に強い忌避感と嘔吐感を感じていた。子供を産んで授乳する時にも、フラッシュバックで胸を触れられることに強い拒否感が出て、授乳ができなかった。

○しばらくはエレベーター見知らぬ男性と同乗しないように、誰かがいると乗るのを止めたり、隠れてエレベーターを待ったりと考えて対策をしていました。思い出さないように忘れていたのですが、今回のアンケートのような場面では鮮明に思い出します。

○思い出して気持ち悪くなる。

○最悪な気持ちになった。人間を信じられない。

○腹だたい 悔しい 一定期間、被害を受けた施設や道路を使えなくなった。

○チカンに初めてあいました。それまでチカンにあったことないのー？と逆にバカにされてきたのでむしろホッとしたのを覚えています。

○被害にあったこと自体も怖かったが、それよりも、「痴漢はされる方が悪い」「貴方が痴漢されたことがあるということをお話すとネタにされるから話さないでほしい」などと男性が言ってきたことの方がショックだった。男性不信はまだ正直なところある。

○まず怖くてフリーズした、相手はハサミを持っているし何も出来ず目覚めないふりをした、サロン経営者の子供が帰ってきて止んだ。以来個人経営の店に怖くて入ることができない。

○発達障害グレーで反芻があるので、度々思い出す。

○10代の頃は、若くて無力だからモノのように扱われるのだと悔しかった。逆襲の機会を妄想しながら過ごすうちに、言葉遣いや振舞いが乱暴になった。男性全体に薄っすらと嫌悪感を抱く事になった。60歳に手の届く今でも、駅でぶつかるなど、明らかに男尊女卑的な嫌がらせに遭遇する事が稀にあり、日常的に相手が男性というだけで不信感が先立つ。

○毎日思い出すし、自分自身どう決着をつけて考えることを終わりにすれば良いかわからない。警察に突き出して罪に問うてくれるのか、不安でなかなか行動ができない。

○油断してた自分が悪いと思った。

○ささいな接触(偶然にぶつかるなど)さえ、故意のものではないか、痴漢行為ではないかと常に反応するようになった。密室(映画館、電車、バスなど)で席を選ぶ際、離席しやすさを念頭に選択する習慣がついた。

○気持ちが悪かったです。

○怖かった。

○今思い出してもおぞましく、男性不信の根源的体験になっていると思います。

○1番ひどかったのは、スカートの中に手を入れられて、下着をずらされたことだった。その時は怖くて何もできず、帰って泣いていた。抱えていることができなかったが、痴漢はよくあることでもあったので深刻に話さずらく、笑い話にして話した。でも、今も何もできなかった後悔や悔しさを思い出すことがある。

○心からこの性犯罪者を野放しにする社会、女性を守らない社会、いくらでも出てくる犯罪者どもへの憎悪を感じました。電車のできる限り男性の近くに座ったり立ったりしないようになりまし、近くに來られると恐怖と苛立ちを感じるようになりました。エレベーターに男性と2人になると動悸がします。

○とても怖くて、悔しかったです。その後、耐えきれなくて路上で大泣きました。しば

らくは何をしてもその事がフラッシュバックして、辛かったです。

○センター試験の時期、カラシ色のマフラーを見ると怖さを思い出す。

○惨めでした。

○怖かったしキモかった。

○一人で歩いているとまた耳元で大声を出されるのではないかという恐怖。自分が弱そうだから、何も言えなさそうだからこんな目に遭うんだという自責の気持ち。

○しばらく状況が飲み込めなかったが、時間が経つと恐ろしくなった。すぐに警察に通報できず、翌日通報した。人通りの少ない道では他人の動きを注意深く見るようになって疲れた。

○ただただ怖かったです。そして、時間帯や服装などは関係なく、いつでも被害にあう事を知りました。(その時、とてもスポーティな服を着てました)

○一人暮らしの家に帰るのが怖くなった。

○つらい。

○こわい、みじめ、辛い、汚い、洗っても取れない、きもちわるい、自分が汚れたようだ。

初めて痴漢にあった1週間後にまた痴漢にあい、つらくて怖くて家族とも話さず布団の中で泣いて過ごした。

37歳になった今でも後ろからバイクの音がすると怖く、立止まり後ろを見て通り過ぎるのを待つ。

男性が向こうからやってきたり接触可能な位置にいると突然触られたときを思い出して怖くなり、咄嗟に胸を隠したりしてしまう。

○子どもだったので、ただ暗い気持ちになりました。

○気持ち悪い。

○男性とはあまり仕事をしないようにしています。

○当時は幼くてよくわからなかったのもあり、トラウマなどにはなりませんでしたが、思い出すと「自分の住む地域にもあんな人がいたんだ...」とモヤモヤします。

○夜道が怖くなった。後ろから自転車がくるとドキドキしてしまう。

○かなり不安になりました。

○吐き気がするし、男性不信になった。

○①人気のない夜だったので後ろから触られた時は何をされるのかと命の危険を感じた。その後、お店などの安全な場所でも後ろに人の気配を感じると警戒するようになった。

○②気持ち悪すぎて誰にも話していない。

○すごく嫌だったけど口にはしてはいけないような気がした。忘れるようにしていた。

○気持ち悪くて、怖くて、吐きそうになった。あとでものすごい怒りと恐怖がわいてきた。自分がけがれたような気持ちになった。

○高校生の頃は、通学を電車通学から自転車通学に変更した。男性が近寄ってくると恐怖心が増し、女子校だったため授業に支障はなかったが、大学受験で、男性がとなりに座って受験すると吐き気を催した。その後も、男性一般に恐怖心を覚え、言動が不自然となる。

○加害者への憎悪、軽蔑の気持ちはもちろん、職場などの場合、解決に結びつかないことで上司や同僚への不信感も募った。職場で加害者に近づかないように、二人きりにならないように努力した。思い出して動悸が激しくなり、気持ちが悪くなることもある。一番ひどい時は二日間仕事を休んで寝込んだ。今も書いていて悪寒がする。

○非常に腹立たしかった。当時は痴漢が性犯罪であるという意識が薄く、警察や駅員への通報も様々な理由で通報者への負担が非常に大きかったため、痴漢をどうやって物理的に攻撃するかを考えていた。中高生の頃の記憶はかなり薄れているにも関わらず、痴漢体験については詳細に記憶している。あの時躊躇してしまい加害者を力の限り痛めつけられな

かったことが悔しくて未だに思い出すと血圧が上がる。生活に支障は全くありませんが、大阪市内を歩く時は競歩のように歩き、公共交通機関を利用する時は臨戦態勢でのぞむようになったのは、ぼんやりしていると危険だと学生の頃に学んだのが一因です。

○とにかく恐怖です。今も外を歩くときは回りを警戒しながら歩きます。

○怖くて何も言えませんでした。その人が降りていく時に触られたので、何も出来ませんでした。

○触られたところがいつまでも気持ち悪く自分が汚いものに思えました。

○わたしの乗り換えの駅は幸い多くの人が降りる場所だったので、その流れに乗って降りました。

○そのとき、わたしは去り際に加害者の顔を確認するだけしかできませんでした。加害者の男性を認識したあとは、彼への憎しみと恐怖がより増幅したような気がします。通勤で毎日使うのでまた会ってしまったらどうしよう、と不安に思い、いつも決まって乗っていた車両をずらすなどの対応をしていました。満員電車に乗ることに対して、いままで以上に不安を感じるので、生活に支障が出るほどではありませんが、確実に傷は負ったと思います。

○気持ち悪い。

○気持ち悪く、怖い気持ちになりました。また、誰にもバレたくないと思いました。

○子供の頃の記憶は大人になっても時々思い出して腹が立つ。

○汚い嫌な思い出で、ただただ忘れられない。痴漢や性被害のニュースを見ると、恐怖か怒りかわからないが背中がブルブル震える時がある。

○あの日から男性が怖くなった。今も後ろから誰かが歩いてくると軽く動悸がする。当時は痴漢を警察に言うべきなのか分からなかった。学校にも遅刻しながら行ったがショックで涙が出た。

○後ろからきた自転車は男性が怖いので、わざと立ち止まり抜かしてもらうがその間もとても怖い。また親切にしても(例えば道を教える)、それがナンパでおっぱい大きいね等の失礼なことを言われた経験が複数回あるため、男性に対して親切にするのが憚られる。

○男性嫌悪。普通に生活出来ているが根本的にどこかで男性を憎んでいる。全員死んでほしいと思っている。娘がいるので絶対に同じ目に合わせたくない。

○悔しくてみじめな気持ち。10代の頃は、気持ち悪くて触られた所を漂白剤の原液で洗ったり、アザになるまで叩いたりしないと居ても立っても居られなかった。

○死ぬほど嫌な気持ち。12歳の時痴漢にあったのは大きなトラウマになり、男性嫌いになった。

○ずっとそのことを考えてしまうし、何も出来なかった自分が悔しかった。一緒にいた人に「知らない人がいるところでは気をつけた方がいいよ」と言われ、「私が悪かったのか?」ともやもやした。

○ただただ怖い、早く時間が過ぎさってほしい。

○思い出すたびに腹が立つ。セクハラや痴漢をしてもよい相手だと思われるような、隙を見せたのではないかと思って、情けなくなる。

○めっちゃくちゃ怖いですよ。「大声を出そう」とか言われるけどビックリしすぎてああいう時全く声出ないんですよ。1回だけ出せたことあるけどそれは成人になってからです。相手もひとけがない時にたぶん来てるので声出しても誰にも聞こえてないと思います。友達に話すけど、全く被害に遭ってない子もいて共感されない時があります。ああいう怖い思いはずっと忘れられないですね。状況もまざまざと思い出せるし、自分が思ってる以上に怖かったんだな、って実感します。40代になりましたが今でも夜道は本当に怖いです。

○非常に不愉快だった。その後数ヶ月は毎日電車に乗るときに周りを警戒していた。

○小学生で受けた被害は大人になって突然思い出し、加害性に気づいた。不審者情報は学校で出回っていたものの、学校の先生や親には羞恥心から相談できなかったこともあとから思い出した。

○侮辱され、屈辱的、意味不明...困惑でした。

○ほんとに悔しくて、あとで涙がでた。ラッシュ時で、ずれようにも動けずで悔しかった。電車で座っていたら、酔っぱらいが目目の前に立った。他が空いているのに。次の駅で、前のほうの車両に移った。ほっとして座っていると、その男が目の前に。すぐに立ってそばの女性に言い、次の駅おりました。

○女性専用車両しか使えなくなった。

○すぐ逃げられたので、怖い等は感じなくて、気持ち悪い・腹が立つな～と思いました。

○気持ちが悪く、知らない男性と距離を取るように気を付けている。

○普通に怖いし泣いた。仕事もこれだけが原因ではないが、離れるきっかけのひとつになった。一日気分が悪く不愉快だった。授業やしごと集中出来ずしんどかった。

○電車に乗ることが怖かったので、自転車通学に切り替えた。就職してからは、禁止されるまでは自動車通勤した。いまだに感触を思い出して、気分が悪くなることもある。

○恐ろしくてしばらくは電車にも乗れなかったし、外に出るのも怖かった。友人といるとき一緒に被害にあったこともあるので本当に今でもその事を思いだししんどくなる。

○男性不信

○しばらくの間その場所に行くのが怖かった。

○気持ち悪く、怖くなることもあった。

○高齢になっても嫌な気持ちになりました。長い間不快感が被害を受けたときとおなじだった。時間が随分たってきてその不快感は少し弱くなるのに30年ちかくかかりました。

○当時の私はなんとも思わなかったというか、よく分からなかったというか、でも後になって嫌だったなと思います。

○盗撮された後は「自転車の位置が変わっていたらどうしよう」と毎日ビクビクしながら家を出ていました。

また、盗撮というデータが残るものだけに、その映像がどこかでシェアされて何人もの人の目に触れているのではないか、その映像に私の顔が映っていたら住んでいる地域がわかってしまうのではないかと不安に襲われるときがあります。

○怖い。何をされるか分からず、冷や汗をかくような緊張状態。心底気持ちが悪い。思い出すと体と心がずしんと重くなる。おじさんに会った図書館には行けなくなった。

○①②何が起こったかわからん感じでした。③何回かあったけど、勘違いかな？思いすぎかな？とか思っていました。

○10年以上経ちますが、思い出すたびに気分が悪くなり、もう忘れたいの忘れられません。

○とにかく不快。

○痴漢か？偶然か？をグルグルと繰り返し考えてしまって、他のことを考えられなかった。それに伴い、加害者への怒り、何もできなかった自分の不甲斐なさへの失望、軽視されてることへの悲しさ、などいろんな感情で消耗する。ストレスが大きく、回復のために寝る時間が増え、生活や学業に支障がでる(思うように進捗しない、集中できないなど)。なにもかもがイヤになり、この世から消えてなくなりたいと思った。

○こわかった、気持ち悪かったです。痴漢から5年後のある時、自宅で夫と窓の外を見ていて、夫が私の後ろに立っていて、私の脚の間に片足が少し当たった時(性的なス

キンシップではなく)、痴漢のことを思い出してこわくなりました。今まで痴漢のことを思い出して怖くなるということがなかったので、自分でも驚きました。

○恐怖と恥ずかしい。怒り。

○気持ち悪い。そのあと、同じような場面にならないように気をつけるようになった。

○不愉快極まりなく、自分がバカにされているような感覚に陥った。女性には何をしてもいいというような軽く見られていると思った。

痴漢は女性を見下しており、人間としてではなくモノとして見ていると思った。

とっさのことで恐怖もあり、通報など適切な反応ができなかったことを後悔している。

本当に恥ずかしかったし気持ち悪かったし不快で今でも思い出して怖くなったり腹が立ったりする。夜や人気のないところを一人で歩くのが怖い。電車や人混みで痴漢に遭わないか常に警戒している。

○辛いし怖くて人間不信に。最近パニック障害起こすように。職場で相談して不当解雇にもされました。

○しばらく電車、バスなどに乗れなくなった。カメラを向けられると怖いと思うようになった。

○驚きと悔しさと、悲しくなりました。

○その時は怖かったが、今は腹が立つ。

○嫌な気持ち。

○一生懸命に介護していたが、悲しくなりました。

○ひたすら、怖かったのとはしばらく、暗闇が怖かった。

○後ろに人が歩いてると怖くなる時がある。

○夜道を歩いていて、後ろから誰かが近づくと音がするともしかして、と考える事がある。

○不快でも満員電車の中の為移動できなかつた。

○一人で歩いて帰るのが恐ろしくなった。

○20年以上たっているけど今でも満員電車に乗るときはどきどきする。一人で夜道を歩くとき、人気のない場所を歩くときは変な人がいないか不安になり何度も振り返ったりキョロキョロしたり、そうじゃない人も怪しい人に思えたりしてしまう。

○二度とその道を通れない日が続いた。震えが来て、恐怖で泣きじゃくった。その道を通れるようになったあともそこに来ると走る。思い出して苦しくなる。

○露骨に性器を見せられたショックは、以後、男性に対する嫌悪心となって、数十年経っても忘れない。

○・バイクの音が後ろから聞こえると怖いので、いまだに振り返って近づいてこないか確認する。

・遅い時間や人の少ない電車に一人で乗るのが怖い。

・夜道をひとりで歩くのが怖い。

○心の底から気持ち悪い。怖かった。男性に力で敵わないことを実感した。思い出して眠れないことがあった。急に思い出して気持ち悪くなることもあった。

ノースリーブやミニスカートなどのファッションを楽しみたいが、性的な目で見られることが不快でいまだに着られない。

○怖かった。また会ったらとうしようと思った。

○自分が男性であることで、相談しても一笑に付されると思って黙ってしまった。

○最悪だった。しばらく悪夢を見ることがあった。周りを警戒するようになった。

○その時は、その程度と思ってしまった。警察に通報という知識がなかった。子供が犯罪を犯すという知識もなく、警戒しなかった。娘がおしゃれしていると、痴漢に遭わないか心配になる。

○電車に乗る事に対する恐怖と被害者であることに対する後ろめたさ（本来はそうでないのですが）をずっと感じていました。

○2歳の記憶なのに鮮明に思い出す時がある。

○別に無い

○怖い。ムカつく。情けない。気持ち悪い。ばかにされたと思う。

○怖くて、同じ場所にはその後一人では行けない。

○今でも思い出すとゾッとする。

○一ヶ月帰り道を付け回されて、怖くて外出できなくなった。

○被害にあった道を通れなくなった。

○幼い兄弟ともども拐われてしまう身の危険もあった状況だった為、恐怖でいっぱいだった。今でも見知らぬ人と2人きりでエレベーターなどの閉所では耐えられないトラウマ。

○恐怖と気持ち悪いつて感情がありました。

○しばらくその時のことが頭をかすめて、何もやる気が起こらなかった。

○不愉快極まりないので、自衛してます。その男が近寄りそうになったらわざと椅子をぶつけたり、睨み付けたり、止めるよう注意したりしてますが。路上の面識のない人間は、逃げるしかありません。不快、男性に対し、不信感を持つようになった

○嫌な気持ち。

○表面的な部分のみの評価や社会でまかり通っている価値観のバカバカしさと浅はかさに、今でも怒りを持っています。

○14歳で電車内で痴漢にあったときは、最初は分からなかったのですが、気持ち悪いのと、恥ずかしい気持ちになりました。以後、男性に近づくことが怖く、極力避け、スカートもはけなくなった時期がありました

た。自分が、女性であることを考えたくないと、感じていました。

○嫌な気持ち、こわい、不愉快。

○不快な気持ちになりました。

○被害時とはとにかく恐怖。後から屈辱、悔しい、怒りなどの感情。夜道など人気ない場所を一人で歩くときは常に警戒。男性不信にも。

○早く年を取りたかった。今でも鎖骨を出さない、膝を出さない、二の腕を出さないようにしている。男性と二人きりにならないようにしている。信用できない。

○怖かったが、年齢とともに腹が立つようになり声を出すようになった。

○次は相手を殺す気持ちで戦おうと思った。

○後になって意味がわかった。

○女を見ると吐き気がするようになった。女のせいで人生を狂わされた。女は電車に乗らないで欲しい。

○①気味が悪かったです。まだ小さかったので重大に受け止めなかったことと、友人も同じ場で同じ経験をして怖い気持ちを共有できたことで、幸い大きなトラウマとはなりませんでした。

○②気持ち悪かったです。痴漢の話題を聞くと思い出します。

○自分が汚された気持ちになる。非常に動揺する。怖い。その後に怒りがくる。

○恐怖、怒り、恥ずかしさ。ニュースで性犯罪と聞かされた時に、どうしようもない怒りが湧く。

○とても不快で、しばらく電車に乗ることや帰宅の道が怖かった。

○人との距離を意識するようになりました。

○殺人などと違って怨恨とか利害関係ではなく、単に「モノ」として扱われているところ

が、自分が人間以下のように感じられて腹立たしい思いと悲しい思いが重なります。

○気持ち悪くても、誰にも言えなかった。

○最初はノイローゼになったが今は別に。

○自分に落ち度があったのではないかと気分が落ち込みました。

○とくに影響はないけど、今思うとまあキモイなって。

○恐怖心しかない。痴漢されて家に着いた瞬間は、涙が出て身体が震えた。夜道は怖くていつも後ろを振り返りながら帰っている。男性と2人で狭い空間に居るのは怖い。エレベーターで男性が乗っていると、乗らないようにしている。一時期は痴漢の発生場所が匿名で登録できるアプリをダウンロードしていた。近い日時、場所で痴漢があれば避けようと。

○恐怖 未だに思い出す。

○未だに映画館には怖くて行けない。  
○それから何度も痴漢にあっています。男性は、痴漢をするものだと思っていました。  
(認知のゆがみ)

○悔しい、男性全てに不信感を感じる。

○怖くて、何もできず悲しくて泣いてしまった。それ以来男性に対してまず性的な不信感を持つようになった。

○電車に乗るのが怖くて通学がしんどかった。女性専用車両は化粧の匂いが気持ち悪くて乗れなかったのに、担任から乗るよう強要されてしんどかった。警察から犯罪者を庇うようなことを繰り返し言われて、被害者が黙れと言われているように感じた。

○とても不愉快でした。

○逃げなくちゃ、怖い。

○とても嫌な気持ちになったので、夜道をひとりりで歩く時は、まわりに注意をはらって歩くようにした。

○たまに思い出し、嫌な気持ちになる。思い出したくない。できればこの話題から避けたい気持ちがある。

○気持ちが悪かった。彼が何をしていたかは分からなかったが人に言っではいけないことだと思った。

○悔しくて腹が立った。電車に乗るのが怖くなった。男なんかいなくなればいいと思った。

○ドキッとした。初めてみるので。

○恐怖と悔しさで心拍数も上がるし体が震えます。何年経っても忘れられませんし、ムスメに同じ思いをさせたくない、過剰防衛してしまいます。

○いやな気持ちになった。

○子どもの頃の事なので、忘れていました。

○一瞬のことだったのでなにがおきたのかわらず、あとで痴漢だったんだときずきました。

○電車に乗る時に人が多いと乗れなくなりました。

○かなしかった。

○距離が近く近づきすぎる人には少しびっくりする。

○そのときの相手の顔や行為がトラウマでゾットする。いまだに記憶が消えない。思い出さないようにしてる。

○気持ち悪い。

○殺してやりたいと思っている。

○卑怯なやり方にはらがたった。

○違う車両なり移動したくても身体が動けない自分にがっかりした。

○一度や二度ではなく日常的にあった。職場でも後ろから肩をさわられたり...

○一瞬、何が起こったか分からずしばらくして嫌な気持ちが湧いてきた。

○電車に乗るときは釘を持参していつでも攻撃できるようにしました。

○よく覚えていない。

○怖かった。

○気味が悪く気分が悪くなった。

○怖かった。

○何故そんなことを勝手にさせなければいけないか、腹が立ってやめてと叫んだ！

○一時期、散歩に行けなかった。

○身構えるようになった。

○すごく腹が立った。

○何が何だか分からなかった。外に出るのが怖くなった。

○押し込まれて犯されかけた時とヤクザに追われた時は、怖くてしばらく家からでられなかった。  
お金がなくて引っ越せなかった。

○身体に何の傷もおっていませんが、一生忘れることはないです。

○気持ちが悪くなった。時差出勤をする職場だったので、その日と同じ時間帯に出勤する時は怖くて、また、気分が悪くなった。

○初対面の人（私）に、私にとって初対面の人達のいる場で、自宅の場所を顔を近づけながらやついてしつこく聞くという、性的なことを含めた身の安全に不安を感じる行為をされ、更に、辞める原因になる程の理不尽なことをされたと、痛感した。

役場の人（状況を見知った人）は助けてくれないという孤独感が湧いた。

政界でのセクハラは、女性の政治参加を阻んでいる原因の一つとなっているようで、この件を経験して、政治に関わりたいのに関われなくなる被害者達の状況や苦しみの一端がわかった気がする。

○不愉快。

○当時は怖いと言うより怒りしかありませんでした。

○①家を知られたり、電話をされたのでしばらく怖かった。

○怖かった、早く終わって欲しい、過ぎ去って欲しいとしか思えなかった。

○不快。電車やバスには乗るしかないから極力人が少ない時間帯に乗るしかなく時間の無駄。

○男はバカだと思いました。

○不愉快です。2回被害に遭いましたが同じ手口で同じ路線だったのでまだ捕まっていないのだと思います。性犯罪者は早く捕まってほしいし許せません。

○大変腹立たしかった。今、思えば、警察に届け出ればよかったです。当時は、そうすればよい、とはみじんも思いませんでした。そういう時代、だったというか...

○満員の通勤電車がトラウマになり、通勤に支障が出た。

○とても不快でした。道を歩いている時に思い出したりしてその度に腹が立ちます。

○また待ち伏せされていないか怖くなった。

○・プライベートでの関わりを望む相手に、個人情報入手されてしまったため、ストーカー行為の不安を感じた。

・住所や家族等の個人情報を伝えた（知られた）後である契約後に、「電話していいか」と言われてしまったので、個人情報を扱う立場を利用した、卑怯な手口で被害を受けてしまったと思った。

単に、契約という区切りがいたら誘おうと思ったのか、相手側の真意は不明だが、契約後に「電話していいか」を聞くことで、意図的に誘いを断りづらい状況（個人情報を知られてるし、契約も済ましてるため）にしようとしたのでは、と疑念が湧いた。

・個人情報を伝えなければいけない人・個人情報を取得・管理する立場の人から、特に個人情報を伝えた後に、プライベートでの関わりを求められてしまったため、男性不信や人間不信になってしまいそうな気持ちになった。

・お客さんとスタッフの一対一の状況は可能な限り無くして、内見や契約の手続き等の担当スタッフを二人（できれば、うち一人は女性）にしてほしい、店舗内には監視カメラの設置を義務づけてほしいと思った。

○・加害者は、人との繋がりや関わりを渴望している様子で、悪気なく声をかけている印象を受けた。そのことから、一番の目的として、私のような被害を受ける人を出さないために、外国人が健全なかたちで、人との繋がりや関わりを持てる仕組みや居場所が必要で、行政や地域で取り組む必要があると感じた。

・悪気があるなしに関わらず、知らない人に突然プライベートな関わりを求めることは、常識を逸脱した行為や相手の心身の安全を侵害する行為であり、安心して外出しづらくなる。他の性被害と同様、逮捕・処罰・更生プログラムの受講をしてほしいと思った。

・そのビルやビルのある街に行く時は、また加害者に会ったり、加害予備軍に声をかけられるのではと、不安を抱くようになり、ブザーを身につけて歩くようになった。

○ここにいる大人達は、怖くて嫌なときに助けてくれないのだなと、愕然とした。

○・当時の被害を思い出すと、加害者から性的なことやハラスメントの被害を受けた人がいるのではないかと気になる。

・大人になり、性被害の実態加害者の特徴を知る今、当時の大人達の反応は、性加害やハラスメントの加害者を生み出すものであり、私はそんな場にいたのだなと思った。

○びっくりした。

○戸惑いと不快な気持ちが沸き起こりました。生活に支障はありませんが、思い出すと少々怒りを覚えます。

○通学経路や時間を変更した。外出時にスカートを穿くことをやめた。眼鏡をかけることをやめた。

○小学生の頃は怖くて当分ひとりで外出できなかった。家を知られているので待ち伏せしているのではと不安だった。全ての男性が怖かった。

○バカにされたことは感じた。

○・尋ねてもいないのに個人的な話を一方的にしてきたり、私のプライベートな領域に土足で踏み込んできたことに、嫌悪感が湧いた。

・知らない人との距離感や関わり方がわからないのか・わきまえられないのか、また、相手の国や地域の文化や価値観によるものなのかわからないが、日本に住む者としては非常識な人だと思った。・再びショッピングモールで会うのでは、という不安が沸き起こった。

○嫌な気持ちになった。

○小学生のときは、意味がわからないながらも気持ち悪かった。大人になってからは、腹がたった。

○びっくりした。

○気持ち悪い。

○嫌で腹が立つ。

○怖くて、悲しかった。

○今だにエレベーターに一人で乗って知らない人が来ると怖い。知らない男性とすれ違うのも緊張する。

○辛いし、悔しい。

○気持ち悪かった。

○何だかわからないけど、気持ち悪かった。

○男全員死ねと思っている。性犯罪を軽く見るな。性犯罪が軽く思えるような言葉を使うな。全員死ね。

○屈辱的。

○絶望的な気持ちになる。

○一瞬で何が起こったか、その時理解出来ませんでしたでしたが、後でじわじわ被害を受けたことが分かり、怖くなった。

○電車での痴漢被害だったので、その後は女性専用車両に乗るようにしていました。ただ、女性専用車両がない鉄道も利用していたので、極力空いている号車に乗ったり、ホームで並んで待たずに常に歩いて、後ろにつかれないようにしていました。

○とても不快な気分になり普段の生活の中いつでもまた同じ目にあうのではないかと男性がいると気を張って落ち着かない。

○当時は高校の制服でしか帰ることができず怖かった。高校を卒業してから女性らしい服装で夜に出歩くことは危険だと思うようになった。

○恐怖の後、深く傷ついた。今でも何回も思い出す。怒りや情けなさ、いろいろな複雑な感情。なぜ、こんなに性犯罪を犯す人間が多いのかと腹が立つと度々怒りに囚われる。